

2026年1月号 Vol. 86 (2026年1月1日発行)

# せんしゅん

<https://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索



ISO9001:2015認証取得  
日本医療機能評価(3rdG:Ver.2.0)認定病院

発行責任者：菊地 孝三



長岡天満宮の大鳥居に昇る元旦の初日の出(長岡京市)

## 理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

## 基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

# 新年のご挨拶

千春会グループ  
医療法人社団 千春会  
理事長 菊地孝三



新年あけましておめでとうございます。

皆さま、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、世界情勢は多くの課題を抱え混沌とする中、日本の政治や経済が大きく変化した1年でした。

医療・介護業界におきましても厳しい現状は変わりませんが、千春会は理念に則り、揺らぐことなく今年もしっかりと地域へ貢献してまいります。

さて昨年、千春会病院では、1月に透析センターを増床(36床)し、一般透析、腹膜透析(PD)の運用体制を固め、一般診療の充実に加え、専門医師による専門外来を多数開設するなど医療の質をより高めてまいりました。医療設備におきましても「人工膝関節全置換術専用ロボットVELYS™」や「AI内視鏡」といった最新医療機器の導入等により、正確かつ高度な手術や検査を可能とし、着実に実績を積み重ねることで安心と信頼につなげるべく良質な医療を提供しております。

介護部門では、京都市内4か所目の「デイサービスセンター岡崎」を開設、大阪府吹田市岸辺の「千春会 たなのファミリークリニック」1階には、100名定員規模のデイケアセンターを新規リニューアルし、現在、いずれも順調に稼働しており、地域の信頼を得るべく努めております。

## 30年を振り返り

さて、私事ではございますが間もなく、理事長就任から30年を迎えます。長いようで短い30年を振り返りますと、平成9年(1997年)に縁あって、前法人に理事長として就任し、右も左もわからないまま、医療業界の経営に携わることとなりました。就任当時の法人経営は、今では想像できないほど混沌を極めておりましたので、周りの方々からは「この状況を立て直すことは困難ではないか」と、ご心配の声を多く頂戴したものでした。しかしながら、そのような状況を打開すべく、まずは目指すべき方向性を明確にするために、法人の礎となる「法人理念」を定め、実現に向け、取り組んでいく覚悟を決めました。おりしも介護保険施行前夜ともいうべき時を迎える中、「医療と介護」は今後大

きく伸びる2本柱であると考え、施行後すぐに介護事業に着手し、その後も地域ニーズにお応えすべく、毎年、新規事業所を開設するなど積極的に展開してまいりました。

さらに、JR長岡京駅前再開発のタイミングもあり、病院建て替えを機として病院名を「千春会病院」と改名した平成17年を「第二の創業」と宣言いたしました。以降、医療・介護業界成長の波に背中を押されるように、地域にとって必要とされることは何かを真剣に考え、法人理念のもと「良質な医療・看護・介護」の提供を目指し、経営の舵を切り、時流の荒波を乗り越えてまいりました。

これまで、経営の分岐に直面し、悩むことも度々ありましたが、法人理念を掲げ「良質な医療、看護、介護、保育」事業を通じた各種サービスの提供による地域貢献に力を尽くしてまいりました。地域の医療機関、行政関係等の協力を頂きながら、ようやく今では「地域のかかりつけ病院」として、この地域で一定の信頼と評価をいただけるまでに成長いたしました。今後もさらにニーズに即した様々なプロジェクトが予定されており、「医療と介護の融合」をもって、皆さまが安心して暮らし続けられるようなまちづくり、地域づくりに貢献してまいり所存です。

わき目もふらずに文字通りの粉骨砕身、馬車馬のように全速力で走り続けた30年。

その節目を迎える今、千春会の未来を担う良き後継者を得て、そろそろ世代交代の時期を定め、次世代に経営のバトンを渡さねばとも考えております。

とはいえ、社会ニーズや価値観、制度は、今後も目まぐるしく変化してまいります。医療、介護業界も成長の未来はあるものの重ねて厳しい状況が予測されますので、決して気を緩めることなく、さらに潮目を見極め、数多くの変革を遂げていかねばなりません。

これからは少し歩を緩めつつも、続く後継者たちを伴走支援しながら、やはり愚直に真っすぐに進んでまいりたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

# 乙訓地域健康講座 開催しました！

長岡京市生涯学習センターバンビオ1 番館

## 知っておきたい大腸がんのこと～内視鏡と大腸がん～

地域の方々に向けた無料講座を開催いたしました。「内視鏡検査」について地域の皆さんに詳しく知っていただき、安心して検査を受けて早期発見、早期治療につなげることを目的としています。講師には内視鏡治療で名高い先生方にお越しいただき、大変わかりやすくご説明いただきました。

当日は、AI内視鏡に使用する機器(実物)の展示もあり、開催時間前から多数の方々がお越しになり、担当者からの説明に聞き入っておられました。

まず、初めに千春会病院の藤原仁史院長が当院の病院概要やAI内視鏡などについてお話しさせていただき、講師の京都済生会病院(消化器内科副部長)森本泰隆先生からは、実例画像を示したスライドで、内視鏡検査・治療とはどういうものかをわかりやすく説明していただきました。

講演2は司会を当院地域連携室長日下利広先生に交替。講師は内視鏡検査の生みの親ともいえる佐野病院理事長・院長の佐野 寧先生の講演です。大腸がんの予防、内視鏡が生まれた過程や治療、検査は恥ずかしくないように配慮されていること、どういう仕組みで病態を発見するのかなど、「痛い・ツライといった口コミに踊らされずに検査を受けて下さい」と早期発見をくり返し強調され、わかりやすく面白く、詳細にご説明されました。

来場の皆さんは「大変わかりやすかった」「内視鏡の治療の過程や歴史まで知ることが出来て興味深かった」「実際の画像にビックリした」「ガンのステージもわかりやすかった」「実際の

の機械を見てとても良く画像がわかるので驚きました」と、皆さん大変勉強になったとの感想でした。

ついおっくうになりがちな「内視鏡検査」ですが、理解を深めていただき、ぜひ、早めの検査を受けて病気の早期発見・早期治療につなげ、元気な毎日を送っていただくことを願っています。

今後も様々な健康講座で地域の皆さんに寄与してまいります。



(前列右から) 藤原院長・日下先生  
(後列左から) 菊地副理事長・佐野先生・森本先生



実物のAI内視鏡を見る参加者の皆さん



わかりやすい森本先生の講演

### <講演1>

司会: 藤原 仁史院長(千春会病院)

講師: 森本 泰隆先生(京都済生会病院消化器内科副部長)

### <講演2>

司会: 日下 利広先生(千春会病院地域連携室室長)

講師: 佐野 寧先生(佐野病院理事長・院長)



佐野 寧先生

ご存じ  
ですか？

## 手の専門外来

現代生活で生じる「手や腕」の  
気になる症状は専門外来へ

<基本> 金曜日

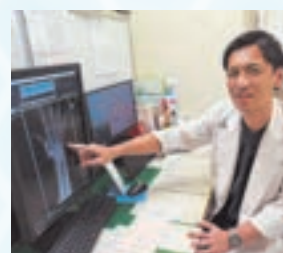
第3土曜日 午前診

竹内 久貴 先生

(日本手外科学会認定専門医)

★日程が変更することがありますので必ず「千春会病院」にお電話で事前にご確認下さい。

千春会病院では、13の専門外来を充実させ、治療のエキスパートの先生方が診察にあたっています。当院では「手」に特化した外来診療も行っており、手や腕の痛み、こわばりなどの諸症状に応じた治療を提供しています。パソコンやスマートフォンの使用、家事や手作業で生じる「手や腕の不調」を感じた方、女性ではホルモンバランスなども関係しますので、指や手首の痛みなど、放置せずに早めに適切な治療ができるよう、お気軽に「手の専門外来」にご相談下さい。



手の専門: 竹内 久貴先生

# 成果を堂々発表 第59回 京都病院学会

本年度も「第59回 京都病院学会」にて研究や  
創意工夫した成果として13演題を発表しました。

施設利用者さんの自宅退所を目指し、リハビリ科  
が介入した症例やデイケアでの就労支援、せん妄患  
者さんに対する多職種ラウンドと心理士介入による  
支援など「医療と介護の融合」と多職種での取り組  
みが示され、医師、看護師、セラピスト、管理栄養士、  
公認心理師、介護士などそれぞれに取り組んで来た  
成果をまとめ上げ、堂々とした発表がなされました。

当日までに予演会も行なわれ、取り組んできた成果や研究をわかりやすく  
精度の高い内容とすべく、理事長、副理事長、院長、医師の評価者からのアド  
バイスや指摘を得て、全発表者がさらに内容を深めてきました。



発表に向けた予演会

当日は、各会場で全員が落ち着いて発表する  
ことができ、それぞれに質疑応答もいただきま  
した。また、他の病院での取り組みなども拝聴し、  
視座を高める良い機会となりました。

これからも、日々、問題意識を持ちながら、研究  
を重ね、より良いサービスの提供につなげてま  
いります。



院長、副理事長と共に演者の皆さん



発表中の金村副院長

## 病院での食事について 嗜好調査(アンケート実施)

千春会では、病院、施設、保育園の食事を栄養科の管理栄養士、調理  
師、調理補助、洗浄スタッフ等が協力し合い、心を込めて提供しています。

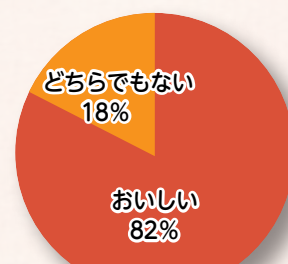
今回は、入院中の方々を対象にアンケート調査を実施させていただきました。  
今年は昨年より20%増加の82%の方が「おいしい」と評価して  
いただきました。食べたい料理をお聞きして、できる限り提供できるよ  
う栄養科でも検討しています。



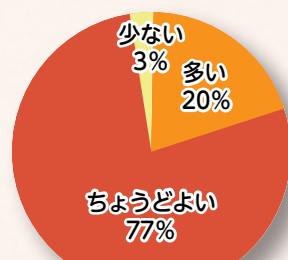
また、提供温度も適温というご意見が多く、配膳  
車の温度管理のもと引き続き温かいものを召し上  
がっていただけるよう配慮してまいります。

### ご意見

- ・味の組み合わせが良い
- ・朝食の品数が少ない
- ・器がキレイ
- ・家で作らない献立がうれしい
- ・炊き込みご飯がうれしい
- ・グラタンがうれしかった
- ・いつもおいしい食事をありがとうございます



食事について(全体的)



食事の量について

千春会病院にて実施しました

## 栄養サポートチーム臨床研修(日本健康栄養システム学会)

西京都病院からご依頼を受け、千春会病院栄養科にて栄養サポートチームの臨床研修を実施しました。西京都病院からは管理栄養士、看護師、薬剤師の方々当院にて2日間10時間にわたる研修を受講されました。定められた研修カリキュラムに則り、院内栄養ケア計画、在宅ケアマネジメント、NSTカンファレンスなど様々な内容の研修を終えられました。当院で実施しているNSTカンファレンスやミールラウンド、栄養治療実施報告書の作成は大切な研修内容の一つです。

医師、看護師、リハビリ科セラピスト、薬剤師と多職種と共に取り組む栄養管理は大切です。これからもそれぞれの専門性を活かしたトータルな栄養サポートに努めてまいります。



熱心に学ばれる受講者

## 千春会への研修ツアーをお受けしました

HMS保険・医療・福祉サービス協会主催「千春会グループ地域包括ケア戦略視察研修ツアー」開催  
— 最速で「地域包括医療病棟」転換を可能にした千春会グループの医療・介護一体型運営の実際 —

HMS保険・医療・福祉サービス協会からのご依頼を受け、研修ツアーをお受けいたしました。北海道、九州と各地からご参加の医療・介護・福祉事業に携われる理事長、院長、事務局長など経営・運営に関わる方々が千春会の取り組みを見聞に来られ熱心に参加されました。主催者挨拶の後、菊地三弥副理事長の挨拶、続いて当院の藤原仁史院長が千春会グループの取り組みについて説明させていただきました。

その後、病院見学(手術室・MRI・手術支援ロボットなど)、介護老人保健施設春風、保育・高齢複合施設西山天王山の施設を見学。午後は「医療と介護の融合」に取り組む各部署事例として、栄養科谷中統括主任より栄養科の役割やチーム医療について、リハビリ科岩谷統括主任からはチームで取り組むワンストップのリハビリサービス、水野公認心理師からはチャレンジする公認心理師の役割と成果、介護老人保健施設春風の強化型老健の実績データや取り組みを入谷課長よりご説明させていただきました。

皆さんから質疑応答や感想なども述べていただき、「なぜ、老健でこのような実績を出すことが出来るのか」「中小規模病院で手術支援ロボット導入はあり得ない」「同法人の居宅紹介ではなく、ほぼ他の居宅紹介であると聞いて驚いた」「弁護士参加の会議にもびっくりです」「公認心理師を導入されたきっかけは?」といった質問等が上がる中、藤原院長、菊地副理事長からは「法人全体で『医療と介護の融合』に真摯に取り組んでおり、その多くは菊地理事長が方向性を示し、職員全員が地域に必要とされるサービス提供に邁進してきたからこそ」との回答がなされました。

「民間病院ではなく、公的病院のようですね」と驚きの声もあり、千春会の良質なサービス提供に、日々頑張る職員の姿が見えるような研修会内容となりました。

最後に菊地副理事長からは「この研修会を通じて、横のつながりでお互いに発展する関係性でありたいと思います」として、参加者の皆さまと和やかで双方向に学びの多い一日が終わりました。



発表者との質疑応答



藤原院長の説明



老健春風を見学される皆さん

## 地域の方々と深まる交流 北大阪健康医療都市「健都」 健都フェス2025 開催 千春会たなのファミリークリニック 今年もフェス参画 広くなったデイケアもあふれる笑顔でいっぱい

千春会では、大阪府岸部の北大阪健康医療都市「健都」(国際級の医療産業拠点都市を目指したプロジェクト)エリアにて「千春会たなのファミリークリニック」として訪問診療、訪問リハビリ、デイケアセンター(通常型・機能訓練特化型)を運営しており、この地域の方々の健康を守るべく協力体制で、地域に貢献しています。

昨年、9月には1階に広いスペースを確保し、午前・午後定員100名のデイケアセンターも新しく動いています。

「健都フェス」は地域との関わりを通じて「健都」の役割を広め、医療機関連携の創出や健康増進につなげるイベントです。当法人のクリニックも昨年より参画。今年は新しくなった広いスペースで機能訓練体験や棚野院長の得意なバルーンアート(風船で様々な形を創り出す)、認知症予防に向けた運動(ユグニケアサイズ)体験などが提供されました。バルーンアートには多くの子どもたちが集まり、大はしゃぎ。明るいデイケアのフロアに楽しそうな笑顔が溢れました。

訪れた多くの地域の皆さんと触れ合いながら、千春会たなのファミリークリニックが提供するサービスを知っていただける良い機会となりました。

老若男女がそれぞれに楽しめる様子は、幼児から高齢の方まで、多世代を支える法人コンセプトが凝縮されたような光景でした。



棚野院長(左)のバルーンアートは大人気



リハビリ運動 初体験の来場者の皆さん



## わくわくドキドキの中学生・高校生職場体験

千春会では、次世代育成の一助として、中学生や高校生の職場体験を受け入れています。

今年も立命館中学校から7名と今回初めて京都府立洛東高校からも2名が来院し、同時に体験しました。

医療系を目指す中学生は、病院で医局、薬剤科、リハビリ科、栄養科等を体験し、介護部でも体験、千春会の特徴である「医療と介護の連携」などを知る機会となりました。

「学校生活やネットでは経験できないリアルな体験だった」「検査技師さんの真剣さや誠実な想いを感じました」「リハビリ科の松葉づえ体験や動けない体験もおもしろかった」「医局では院長先生や副院長先生から病院のことや歴史的なことまで教えてもらい興味深かったです」「やりがいのある仕事だと思った」「身体だけではなく心も傷ついていることに気づいた」「働くことを体験し、働いている母の大変さを気づかされた」等、多くの気づきや学びがあったとの声に、多忙な中、真剣に向き合う職員たちの想いが伝わった職業体験になりました。

これからも、未来に向かう子どもたちの糧になるよう協力してまいります。



仕分けした薬の説明(薬剤師体験)



キャンディーを使って  
薬の仕分け体験



透析センターでの体験



Drの診察見学

# たくさんの体験や人との関わりで豊かな心を育みます

地域の皆さんとの関わりや世界を感じる体験は、広い心と柔軟な思考につながります。  
千春会グループの保育園では、人と人との触れ合いを感じる機会を大切にしています。

小規模保育園 **アトリエ保育園** 0歳～2歳 定員19名 保育・高齢複合施設 西山天王山

## ハロウィンで地域交流と多世代交流

### ハロウィンイベントにお招きいただきました 子どもたちが地域のカフェを訪問

「今年も園児さんたち、遊びに来てください」とお声がけいただいている地域のカフェでの「ハロウィンイベント」。お誘いを受け、みんなでハロウィンの仮装をして、てくてくお出かけしました。仮装して歩いていると「可愛い」と通行中の方も思わず笑顔に。0歳児、1歳児、2歳児さん、みなさんでお散歩していくカフェは楽しい大冒険です。



仮装してお店まで歩く園児たち

## 高齢者の皆さんと園児さんが一緒にハロウィンで楽しく

保育・高齢複合施設西山天王山は、高齢者と園児が自然に触れ合える施設です。ハロウィン行事も小規模多機能型居宅介護のどこか



カフェの前でみんなでポーズ

ご利用中の皆さんと一緒に賑やかに「交流ハロウィン」を楽しみました。

お化けの仮装の園児さんとお化けの帽子をかぶったご利用者さんが、温かく優しい空間を共有するひとは、複合施設ならではの素晴らしい体験です。



高齢者の皆さんと楽しく交流

きらら保育園 0歳～5歳 定員60名 保育・高齢複合施設 友岡

## 英語遊びで外国語を楽しもう

きらら保育園では、外国語や異文化に触れる機会を持ってもらおうと、外国人の先生と楽しく遊びながら、英語に触れられる時間を設けています。

始めた頃は、戸惑っていた子どもたちも今では、海外の先生と大きな声でお話をしたり、小さなコミュニケーションが生まれています。お天気を絵や身体で表現しながら英語でしっかり認識できるようになりました。

ABCのカードゲームや音楽で身体の部分を表すダンスなど40分間、飽きることなく楽しむ子どもたち。

外国語に触れ、世界にはたくさんの言語やたくさんの人々が暮らしていることを知るきっかけになればと思います。



英語のカードや歌・ダンスで  
大はしゃぎ

## 歳時記 1

# 地域の皆さまへ「介護教室」開催中！

毎月第1水曜日・第3土曜日

長岡京市生涯学習センターバンビオにて

参加無料

どなたでも参加できます

1回でも大丈夫



一般の方々、介護ご家族さま、他事業所の方々などを対象に、知って役立つ「介護教室」を4月より毎月開催しています。年間を通して様々なテーマで、在宅介護や今後役立つ学びとして、毎回多数の方が参加されています。今回は「移動・移乗の介護」をテーマに開催。岡田作業療法士からイスからの立ち上がりや床から立ち上がりを受講生当院リハビリ科作業療法士の岡田主任が講師となり、わかりやすく、丁寧な実技で研修を行いました。

どうすれば介護をする側、される側も「楽に安心・安全に」簡単に移乗できるかを車いすやベッド、椅子やポータブルトイレ等への移乗の実技の中で学びます。「こうすれば楽に移動させられますね」「軽いです」「この場合はどうなりますか」など活発な質問もあり、参加者の皆さんは「やっぱり、教えていただくとうまくできそうです」と喜んでおられました。



実技にチャレンジ

千春会では、地域の方々に介護力を高めていただき、地域全体の介護力向上につなげてまいります。

次回予定

1月 介護保険について 2月 高齢者疑似体験 3月 排泄の工夫  
1回でも参加できます。お気軽にお問合せ下さい  
介護老人保健施設春風 075-953-6301 (研修担当:中谷まで)

## 歳時記 2

# 四季折々の恵みを一緒にいただく秋

当法人の「小規模保育園アトリエ」は、高齢者と子どもたちが日常的に触れ合うことが出来るよう、同じ建物の中にあります（「保育・高齢複合施設西山天王山」）。

5月に同施設内の「小規模多機能型居宅介護のどか」のベランダで利用者さんに見守られながら、子どもたちが小さな手で植えたお芋の苗。この秋、なんと、大きな大きなお芋が出来ました。芋ほりをした子どもたちもビックリするくらいの立派な出来栄です。

法人の栄養科に届けられ、おいしいサツマイモご飯になり、子どもたちと病院職員の昼食に提供されました。子どもたちは、あの苗が大きなサツマイモになり、食べられるという貴重な経験をする事が出来ました。

栄養科の心遣いに、みんなが笑顔になる一品となりました。

食材の流れを知ること、季節や食べることの大切さを、大人も子どもも感じられた秋の日でした。



大きなお芋にびっくり



小さな手でお芋掘り



子供達用のサツマイモご飯

## 編集後記

明けましておめでとうございます。新年表紙は、長岡天満宮（長岡京市）の大鳥居中央に昇りゆく「初日の出」。輝く日の光、今まさに新年を迎えます。ここは、菅原道真公がご生前に在原業平と共に遊び、詩歌管弦を楽しまれた所縁の地。この「長岡京」は、平城京に比して、大きな川や池など交通利便な物流拠点としても期待された平安京遷都前の「都」。奇しくも千春会病院が建つ場所は、幻の都と呼ばれた「長岡京」が確たる「都」であったと証された発見の地となります。千春会は歴史あるこの地に根を張り「地域になくなくてはならない存在」として、

今年も様々な形で地域にしっかりと貢献してまいります。社会情勢厳しい昨今ながら、明けない夜はないという。心待ちする元旦の朝。昇りゆく太陽と共に、真つすぐ大きく羽ばたく大鳥の姿に、天に向かい飛翔する千春会を重ねつつ。新年最初の暖かい光に包まれながら、法人と地域の未来に夢を描く、新しい年…今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。（弘）

表紙写真：元・乙訓医師会会長 齊ノ内先生ご提供

## 患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構  
認定番号:UC1355-3号

日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26  
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615